

**製品名: 53BP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86743**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:214 kDa; Observed MW:450 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	53BP1
別名	TP53; p202; 53BP1; TDRD30; p53BP1
遺伝子ID	7158
SwissProt ID	Q12888
免疫原	ヒト 53BP1 の合成ペプチド

**背景**

この遺伝子は、DNA二本鎖切断修復経路の選択において機能するタンパク質をコードし、非相同末端結合（NHEJ）経路を促進し、

相同組換えを抑制します。このタンパク質は、DNA 損傷応答において複数の役割を果たします。具体的には、DNA 損傷後のチェックポイントシグナル伝達の促進、損傷したクロマチンへの DNA 損傷応答タンパク質のリクルートのための足場としての機能、二本鎖切断後の末端切断を抑制することで NHEJ 経路の促進などが挙げられます。これらの役割は、V(D)J 組換え、クラススイッチ組換え、そして保護されていないテロメアにおいても重要です。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2017 年 8 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



53BP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。